

ささえあう 地域づくりが 仕事です

2019.9.1

No. 192



杉並社協のマスコットキャラクター「うるくん」

すぎなみ社協

広報紙「すぎなみ社協」は5月、7月、9月、12月、3月の1日発行です。
また、杉並区社会福祉協議会ホームページでもご覧になれます。

杉並社協 検索

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並2階・4階 ☎03(5347)1010(代) e-mail fukushi@sugisyakyo.com

社会福祉法人
杉並区社会福祉協議会

社協は地域福祉を推進する
社会福祉法人(民間団体)です。

Facebookもチェック

https://www.facebook.com/sugisyakyo/



主な記事

- 2面 ●さすなサロンで地域とつながる一新規サロンの紹介
●「サロンを立ち上げたい」を応援します
- 3面 ●赤い羽根共同募金運動が始まります
- 4面 ●すぎなみ社協発 INFORMATION

平均年齢70歳代で高齢者に 元気を届ける



「楽しむこと」が活動の原動力

—— 高齢者ボランティアに携わって29年

はじめて高齢者のボランティアに関わったのは1990年のことです。元々ガールスカウトの団委員長をしていたのですが、スカウトの中学生の一人が、「高齢者の役に立ちたい」と言ったことから、引率者として活動したのがきっかけでした。その時、訪れたのが特別養護老人ホーム南陽園です。当時は高齢者の話し相手を務めました。その後、施設から直接私にオファーがあり施設内で「コーヒー喫茶」をスタートしました。陶器のカップとソーサーで出すコーヒーは、喫茶店気分が味わえると好評で、一緒に活動する仲間を増やしたいと思いました。しかし、どんな方法で募ったらいいのかわかりませんでした。そこで、運営協議会委員を務めていた阿佐谷地域区民センターの広報誌「あさがや」で「身近でできるボランティア」を募集したところ、メンバーが徐々に集まり、1996年に「グループあさがや」を立ち上げることになったのです。

—— 人生経験を重ねた女性パワーが集結

「グループあさがや」の登録者はほぼ全員が女性で、現在60名ほどです。ほとんどが私より高齢で、90歳代の方も2名います。現在、南陽園をはじめ、上井草園や、さんじゅ阿佐谷などの特別養護老人ホーム、ゆうゆう高円寺北館の「高円寺北きすなサロン」が主な活動場所。木曜日、土曜日を除く毎日、メンバーが、どこかしらに伺っています。「音楽リハビリ」、「コーヒー喫茶」、「読み聞かせ」、手芸や書道など活動は多岐にわたりますが、得意な分野を生かせることが特長です。

—— 継続の秘訣は「楽しむこと」

長期にわたって活動しているメンバーも多く、加齢のせいか体を壊すメンバーもたまにいますが、元気になって復帰してくれるケースがほとんどです。中には、自身がショートステイを利用している最中に、ボランティアとして参加したというメンバーもいます。高齢になってもずっと続けられるのは、楽しみながら活動できているからだと思います。いくつになっても人の役に立てるということは、うれしいことですね。積極的なメンバーも多く「活動を通して社会とつながっている」と感じている人もいます。

「グループあさがや」の代表として、大事にしていることの一つが人間関係です。例えば「コーヒー喫茶」は2人ペアで活動することが多いのですが、誰と誰でペアを組んでもらうかを決めることは、とても気を遣います。「ボランティアをしたい」という気持ちで参加しているメンバーにも、気持ちよく過ごしてもらいたいと思っています。

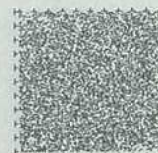
—— 勇気を持って一歩踏み出す

私たちの活動は、男女年齢問わず、2時間程度の時間があれば、誰にでもできます。「何かやってみたい!」と思う人がいたら、ぜひ一歩、足を踏み出してもらいたいです。



グループあさがや代表 **梶原 美恵子**さん

1950年生まれ。ガールスカウトの引率がきっかけで、高齢者福祉に携わる。1996年、任意団体「グループあさがや」を設立し代表に就任。第57回東京都社会福祉大会東京都社会福祉協議会会長表彰受賞(平成20年)
〒166-0015 杉並区成田東5-15-31 ☎080(5530)1186



10月1日から第73回赤い羽根共同募金運動が始まります! 詳しくは3面へ